

.....

## 介護報酬、プラス改定で調整…引き上げは微増

読売新聞 2017年12月01日 06時00分 抜粋

政府・与党は30日、介護保険サービスの公定価格である介護報酬を2018年度から引き上げ、プラス改定とする方向で調整に入った。

引き上げは微増にとどまる見通しだ。介護事業者が受け取る対価が増え、経営の改善が見込まれる一方、利用者の負担や介護保険料は増えることになる。

政府は年末の予算編成作業で、具体的な引き上げ幅を決定する。介護報酬は原則3年ごとに見直され、12年度は1・2%の引き上げ、15年度は2・27%の引き下げだった。安倍内閣は「介護離職ゼロ」を掲げ、介護の受け皿整備や介護人材の処遇改善などを進めており、今回はプラス改定とすることで、政府の姿勢を示す必要があると判断した。

政府は高齢化の進展に伴う社会保障費の伸び(自然増)を年間5000億円程度に抑制する目標を掲げている。18年度予算では自然増が約6300億円と見込まれ、約1300億円を削減する必要があった。この目標については、同じく18年度に改定される医療費の診療報酬のうち、医薬品などの価格である「薬価」部分が大幅に引き下げられる見通しとなり、介護報酬を引き上げても達成できるめどがついた。

### ■事務局より

◆財務省と厚生労働省の攻防が続いています。上記のとおり報酬全体がわずかにプラス改定される目途ですが、利用する側の負担増や国民の介護保険料の負担など、仕組みとしてはと後退したという考え方もできます。どこに力を入れ、どこを削減するのか、そうしたところでのわずかな微増であり、また今後の市町による軽度者の総合事業へシフトが進むことを考慮しても、これまでどおりの事業スタイルではいずれ頭打ちということも出てくるかもしれません。動向を見て考えていきましょう。

◆佐賀県内でも介護予防・日常生活支援総合事業を進めるための、生活支援体制整備事業が始まっています。課題、日常生活圏域の第2層協議体づくりといわれるものです。どこの市町もまだ試行錯誤の状態ですが、全国的に進んでいくものです。ご自身の事業所の地域でもそうした動きが起こっているか、確認されてみてはいかがでしょうか。中長期的には、軽度者の支援に直結するものですから今のうちから参画されることをお勧めいたします。

### 【佐賀県地域共生ステーション連絡会関連】

### ■アドバイザー事業12月からはじまりました！！

毎年恒例ですが、地域共生ステーション開設アドバイザー事業がはじまっています。今年度は、県内 16 カ所程度が予定されています。世話人の皆様はご協力をお願い致します。

尚、この調査は佐賀県が無作為に抽出した事業所に訪問するというものです。地域共生ステーションへの聞き取りや視察から、その取り組みへの更なる資質向上に向けたアドバイスを行うものです。訪問先の皆様には趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

## ■12/3（日） 鳥栖地区地域共生交流イベントが開催されます！！

地域共生交流イベント in 鳥栖が、NPO 法人とさくさんを中心に鳥栖地区で開催されます。

基調講演は、「地域でつくろろう笑顔の輪」と題し、佐賀女子短期大学名誉教授、長崎活水女子大学教授の吉牟田美代子氏をお招きしています。またNPO法人ミュージックネットワークすみれ会コンサートや地域共生ステーションのパネル展示なども行います。佐賀牛手作りカレー（無料）も振舞われます。是非お越しください。（別添チラシ）

## ■世話人会の開催日について 次回 12月19日（火） 13：30～

世話人の皆様はご確認ください。今後は、水曜日も候補にいれ調整してまいります。

## ■映画「ケアニン～あなたでよかった～」

### 1月18日（木）19時～ アバンセ第3研修室にて上映予定

2017年初夏、全国公開予定の映画「ケアニン～あなたでよかった～」を資質アップ研修の一環として上映することが決まりました。お申込み書は後日となりますのでまたご案内します。

新人の介護福祉士を主人公に、介護という仕事を通じ、働くことの意味、人や地域の繋がりやの尊さを描く。これとやってやることがなかった大森圭は、漠然とした理由で介護の専門学校へ入学し、卒業後は小規模多機能施設で介護福祉士として働いていた。認知症の高齢者たちとうまくコミュニケーションがとれず、悩む日々が続いていた圭が初めてメインの担当となったのは、認知症を発症した79歳の星川敬子だった。先輩スタッフたちの協力もあり、試行錯誤の中、徐々に敬子との関係性を深めていく圭は、介護という仕事に本気で向き合うようになっていく。主人公の圭役を「仮面ライダーウィザード」の戸塚純貴が演じる。監督は「東京PRウーマン」の鈴木浩介（抜粹）。

## ■2/27 第4回資質アップ研修

昨年に引き続き、長崎レクレーション協会の中島るり子氏の講演です。今回は「人ごとではない、私のこと」と題しご講演いただきます。詳細が決まり次第お知らせいたします。

## ■11/22 アバンセ 地域共生ステーション資質アップ研修

### 認定 NPO 法人じゃんけんぽん（群馬県高崎市）井上謙一氏登壇

アバンセ第3研修室で開催されました。井上氏からは冒頭に、これからの地域包括ケアの中で、生活支援や介護予防が大きくなっていくことをまず説明、今後の事業所の役割などについて、ご自身の実践も入れながらわかりやすくお話していただきました。総合事業は何のためにやるのか、将来の子どもや孫世代につけを回さない、今に生きる人たちの責任という重い言葉が印象に残りました。

今回の資質アップ研修は、昨年を引き続き、長崎県のお手玉の会の中島るり子氏にご登壇いただく予定です。

### ■第2回佐賀県地域支え合い担い手養成事業（鹿島市開催）が開催されました。

鹿島市高津原のコミュニティーセンターかんらんにて、第2回の佐賀県地域支え合い担い手養成研修が開催されました。開催にあたっては余暇センターきたじまにご協力いただきました。

15名が受講され、2日参加の8名に修了証を授与しています。地域の担い手づくりの試行的事業ですが、今後の総合事業の推進に欠かせない事業として、来年度も検討していきます。今年度は、2月にみやき町、3月に佐賀市で調整します。

### ■地域共生ステーション推進事業要綱について

平成29年4月からの「佐賀県地域共生ステーション推進事業」の要綱が佐賀県のホームページに掲載されています。

ポイントは地域共生社会実現に向け、ぬくもいホームの推進及び転換といったもの。ぬくもいホーム本体事業のサテライトとして地域住民交流の拠点づくりへの開設補助が設けられたことも新しい試みとなっています。

30年以降に新設される「共生型サービス」や、今後進んでいく「住民主体の総合事業」といったものは、宅老所やぬくもいホームで長らく温めてきたものといえると思いますが、ようやく制度が後追いで追いついてきた表れでもあります。

具体的な共生の取り組みが今後求められるものとして、積極的な活用をご検討ください。

★会員の皆様には、これにあわせ、地域の「居場所づくり」にチャレンジしていきましょう。

総合事業でいえば、一般介護予防事業「地域介護予防活動支援事業」ということとなります。まだ県内で位置づけられていませんが、実績づくりという視点ではじめていきましょう。

### ■ブロックの動き、地域情報

**中部ブロック**（佐賀市・小城市・多久市・江北町・大町町）

◆ 11 / 22 佐賀中部ブロック会議が、地域共生ホーム愛あいの地区の公民館で開催されています。10名が参加し意見交換、その後、デイサービス長楽苑を見学しています。

◆ 1 / 9 佐賀県と認知症の人と家族の会主催で、若年性認知症研修会が、1 / 9 14:00 から、ほほえみ館で開催されます。「認知症と共に生きる」と題し、39歳でアルツハイマー認知症と診断された、丹野智文氏の講演会です。

## **西部ブロック** (武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町)

◆ 12 / 20 西部ブロックの定例会、研修会が開催されます。

研修会「認知症について」

18 : 00 定例会 19 : 00 研修会

場所：塩田楠風館

## **北部ブロック** (唐津市・伊万里市・有田町)

## **東部ブロック** (神崎市・吉野ヶ里町・上峰町・鳥栖市・基山町)

※各地域共生ステーションの実践や、地域の情報をMMで配信しますので、メールでの情報提供にご協力ください。(fukusinoie@world.ocn.ne.jpまで)

## **■佐賀県CSO支援自販機を設置しています**

佐賀県地域共生ステーション連絡会では、佐賀県と協働し「佐賀県CSO支援自販機」を、コカコーラウエスト様及び西日本ビバレッジ様のご支援により下記に設置しております。

★コカコーラウエスト様自販機 アバンセ1F

★西日本ビバレッジ様自販機 九州シンクロトロン光研究センター2F交流センター

CSO支援飲料水等の購入による売上の一部を自販機設置事業者がCSOに寄付する自販機のこと、連絡会の活動資金に活用させていただいています。社会貢献活動や寄附文化意識の向上にも寄与するものです。施設をご利用の際はCSO自販機をご利用ください。

「コカコーラ・ウエスト様」「西日本ビバレッジ様」ご支援誠に有難うございます。

.....

## **【さが福祉移動サービス・ネットワーク関連】**

## ■移動サービス 制度関連

高齢による運転不安や免許返納など、地域での日常の足の確保が全国的な課題になっています。そうした背景から、国交省や厚労省が協議を重ね、介護予防・日常生活支援総合事業の介護予防・生活支援サービスにおける訪問型サービスDの実施可能モデルについて、都道府県に通知されました。

移動は、地域の生活や介護予防に直結するものであり、既存の公共交通機関、福祉有償運送のみならず、選択肢の拡大が急務になっています。是非関心をお寄せください。

## ■移動サービス認定運転者講習会（福祉有償運送講習会）

○1 / 27、28 佐賀市鍋島シェスト 通常講習

1月開催予定の受講者を募集いたします。お申込みはお早目をお願いいたします。

## ■2月 大分県竹田市 住民主体型移動サービス

### 安全運転講習ヘインストラクター派遣予定

「移動サービス認定運転者講習」 移動サービスをはじめませんか！！

移動サービス認定運転者講習会（福祉有償運送大臣認定講習）をさが福祉移動サービスネットワーク主催で開催しています。福祉有償運送実施団体の方はもとより、デイサービスの安全運転のスキルアップ、また、今後、総合事業がはじまり生活支援の中の移動支援に関心を寄せていただく上でもでも受講をお勧めしています。

「さが福祉移動サービス・ネットワーク（ふくしの家 0952-36-6865 又は、ふくしの家HPから申込み用紙をダウンロード）にお申込みください。

総合事業においても移動支援である「訪問D」をどう位置付けるか今後大きなテーマになります。移動サービスの理解を深めていきましょう。

申込書ダウンロード <http://www.fukushinoie.jp/>

## ■佐賀県の福祉有償運送団体

平成29年8月1日時点で、32団体となっています。県によっては実施する団体が増えているところもあります。県内でも地域によっては移動サービスを実施できるところが不足しています。社会貢献の一つ、サービスの一環として、是非参画下さい。福祉有償運送を実施したい団体様は相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

[http://www.pref.saga.lg.jp/ki\\_ji0031144/3\\_1144\\_25454\\_up\\_036enal5.pdf](http://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji0031144/3_1144_25454_up_036enal5.pdf)

（佐賀県HPより）

.....

## 【書籍販売】

- ◆住民主体の生活支援サービスマニュアル3「居場所・サロンづくり」  
公益財団法人さわやか福祉財団 編 1,200 円
  - ◆住民主体の生活支援サービスマニュアル6「移動・外出支援」  
特定非営利活動法人全国移動サービス・ネットワーク 編 1,200 円
- .....

本年は皆々様に大変お世話になりました。ご多幸のある良い年をお迎えください。

～地域福祉推進拠点のネットワーク～

## 佐賀県地域共生ステーション連絡会

～移動自由な地域を目指して～

## さが福祉移動サービス・ネットワーク

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シェストハーモニビル3F）  
認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内  
TEL：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895  
メール：[fukusinoie@world.ocn.ne.jp](mailto:fukusinoie@world.ocn.ne.jp)

佐地共連ホームページ <http://sachikyoren.com>

- ※メールアドレスが不明なところにはファックスにて送信しております。
- ※ファックス受信の事業所様は、お手数ですが、上記メールアドレスにご返信ください。
- ※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。